

2

説明文・論説文(2) 要点・要旨

同訓異字 / 同音異字・同音異義語

例題

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

学習の要点

説明文や論説文(ろんせつぶん)を読むときは、文章全体の話題をとらえた後、段落(だんらく)ごとの要点から段落関係をつかみ、要点(ようしつ)をとらえましょう。

① 要点をとらえる

ステップ1

指示語の指し示す内容を確かめる。

ステップ2

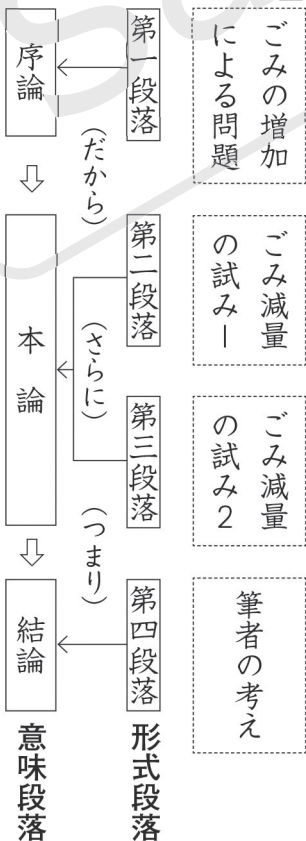
各段落の要点をとらえる。

ステップ3

意味段落に分ける。

例

接続語に注意して、段落どうしのつながり方をとらえる。



② 要旨をとらえる

要旨とは？

筆者が最も述べたいこと

注目

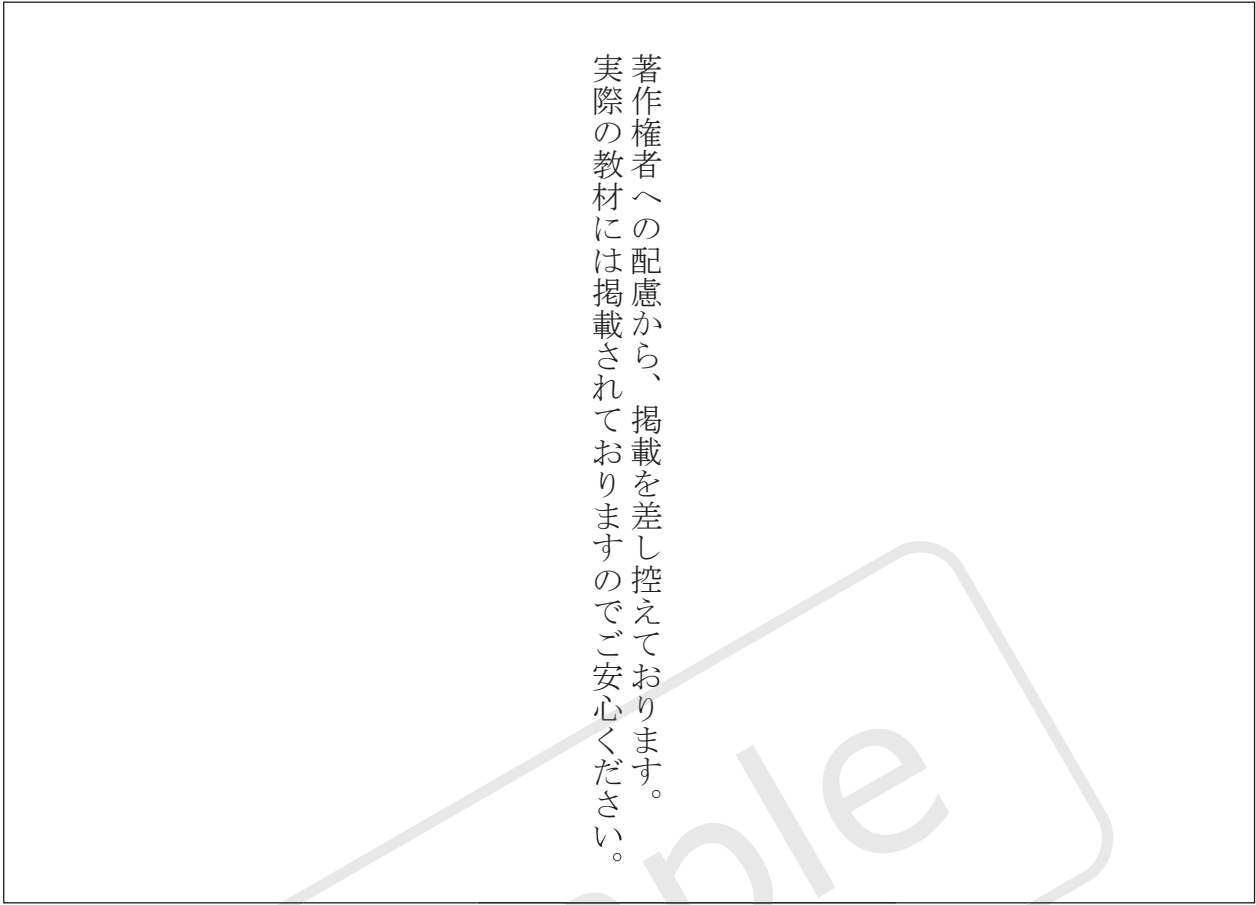
最終段落の要点＝要旨

最終段落に筆者の考えがまとめられていることが多い。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) アドバンテージ…有利になること。

(茂木健一郎「脳がめざめる『教養』より」)



問一 この文章の話題は何ですか。次の文の□にあてはまる言葉を文章中から二字で書きぬいて答えなさい。

□
 を磨いていく方法について。

問二 次の文は、どの段落の要点をまとめたものですか。段落番号で答えなさい。(要点)

「つながりタイム」を持って、多くの人にとっては毎日同じような顔ぶれになってしまっている。

□
 段落

問三 —線「知の毛づくろい」とは、どのようなことですか。次の文の□A・□Bにあてはまる言葉を、Aは二字、Bは五

字で文章中から書きぬいて答えなさい。(要点)

質的にも量的にも充実した□Aの中で、□Bを生み出し発見していくこと。

□A □B

問四 この文章の要点として最もふさわしいものを次の中から選

び、記号で答えなさい。(要点)

ア ダンバー教授の研究によって、サルはおよそ百五十人と毛づくろいができる脳の容量を持っていることがわかった。

イ 新しい教養を身につけるためには、多様な分野の人々とのネットワークを広げていくことが大切だ。

ウ 多くの知識やスキルは、Aーやロボットに置き換えられていくため、人間が新たな知識を得る必要はなくなる。

エ 最近では、職場や学校などの仲間とのつながりより、SNSのつながりの方が重視されるようになった。

□

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(内山節「文明の災禍」より)

(注) 与件：あらかじめ与えられている条件。仮定。

前提的：前置きとなる条件として。

デカルト主義：ここでは、フランスの哲学者デカルトが唱えた、理性こ

そ自然科学の発展につながるという考え方を指す。

ぬかり：油断。手落ち。

コミュニティ：一定の地域に居住し、仲間意識をもつ人々の集まり。地

域社会。

□定番問題

線「こんなふうに」が指す内容が具体的に書かれて
 いる段落を段落番号で答えなさい。(指示語)

段落

□問一

線①「以前から私にはひとつの疑問があった」とありま
 すが、具体的にはどのような疑問ですか。「〜という通説は正
 しいのか。」に続くように、文章中から十二字以内で書きぬい
 て答えなさい。(話題)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

という通説は正しいのか。

□問一

線②「人間の本质を知性の存在に置く、デカルト主義的
 な発想」とありますが、筆者は、何を「人間の本质」に挙げて
 いますか。文章中から十一字で書きぬいて答えなさい。(要点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□問三

線③「自然や他の人々と多様な関係を築かなければなら
 なかった人間」とありますが、「人間」がこのような関係を築
 かなければならなかった理由を、文章中の言葉を使って三十字
 以内で答えなさい。(要点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□問四

この文章の内容に合うものとして最もふさわしいものを次の
 中から選び、記号で答えなさい。(要旨)

ア 人間は道具をもつことによって生物の頂点に位置するよう
 になった。

イ 孤立する人間が増えつつある今、コミュニティの再建や創
 造は急務である。

ウ 人間は弱い生き物であり、自分たちの生きる方法をもつて
 いない存在である。

エ 人類の文明は、多様な関係をつくるために道具をもつたこ
 とによって築かれた。

--

☆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

65

60

55

50

45

40

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

105

100

(注) 49ページの図：「競争『しない』戦略」の49ページの図。本書16ページ

(稲垣栄洋「競争『しない』戦略」より)

下段の図参照。

ルデラル：荒地あちに生きる植物。

問一 この文章の話題は何ですか。最もふさわしいものを次の中から

ら選び、記号で答えなさい。

- ア 勝者になるための実力をつける方法について。
- イ スポーツのルールが複雑化している現状について。
- ウ 複雑な局面で多くの勝者が生まれる理由について。
- エ 植物の生育には、安定した環境が必要な理由について。

問二 線①「強い者が勝者となりやすい」とありますが、次の

ア、エの競技は、「強い者が勝者になりやすいもの」と「弱い者でも勝者になることがあるもの」のどちらになりますか。表

の [A]・[B] にあてはまるように二つに分類し、記号で答えなさい。

- ア 一〇〇メートル走
- イ バドミントン
- ウ バスケットボール
- エ 砲丸投げ
- エ 砲丸投げ

強い者が勝者になりやすいもの	スピードガン・コンテスト
弱い者でも勝者になることがあるもの	野球
[A]	[A]
[B]	[B]

A

B

問三

線②「弱者が強者に勝つには、ルールを複雑にすることが有効なのである」とありますが、なぜですか。次の文の [A]・[B] にあてはまる言葉を、①～⑧段落の文章の中から

Aは三字、Bは四字で書きぬいて答えなさい。
 ルールが複雑になれば、さまざまに [A] が考えられるので、弱者にも勝つ [B] が生まれるから。

A

B

問四

文章中の ①・② にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 多く
- イ 少なく
- ウ 等しく
- エ 強く
- オ 弱く

①

②

□問五

——線③「中程度攪乱仮説」とは、どのような法則ですか。「という法則。」という形で、文章中の言葉を使って三十五字以内で答えなさい。(要点)

という法則。

□問六

この文章の内容として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(要点)

ア 急激な環境の変化が植物に大きなダメージを与えるように、不安定で予測不能な現代は、人間にとって生きにくい時代だと言える。

イ 現代は、ナンバーワン以外はすべて敗者と考える風潮が強いので、ナンバーワンになる力を持てるように努力していく必要がある。

ウ 定期的に手入れをし、安定した環境が保たれた場所には、様々な花が咲き生息している動物も多いので、人々の憩いの場となっていることが多い。

エ 不安定で予測不能な現代においては、不安定な状況が複雑な環境を生むが、自分に合った環境で自分の力を発揮できれば、勝者となることができると言える。

オ オリンピックの種目にはさまざまな種目があるので、ルールの複雑なものの中から自分に合った種目を選ぶことがチャンスを生かすことにつながる。

□問七

——線④「多種多様な『ものさし』があるからこそ、多くの者たちにチャンスが分け与えられるのである」とありますが、小学5年生と6年生の混合チームで、次のルールによるサッカーの試合をしました。

【ルール】・前後半で行い、最終的に得点の多い方が勝ち。

・ゴールの得点は6年生だと1点、5年生だと2点。

・反則をしたら1点減点。

・後半から出場した人がゴールすると得点は3点。

・各チームの出場者は、5年生・6年生ともに4名以上となるようにする。

(1) AチームとBチームで試合をした結果を次のようにまとめました。最終的に勝ったチームを記号で答えなさい。

	Aチーム前半	Aチーム後半	Bチーム前半	Bチーム後半
5年生ゴール数	0本	0本	1本	1本
6年生ゴール数	3本	4本	1本	1本
反則数	2回	1回	1回	2回
選手の交代回数	0回	0回	0回	2回

※Bチームは後半から出場した6年生のゴール数が1本。

_____ チーム

(2) (1)の結果をふまえて、あなたがCチームにいるとき、Aチームに勝つためにどんな作戦を立てますか。その作戦がどのような点で効果的だと考えるのかを、理由も含めて書きなさい。

●同訓異字

訓読みが同じで意味が異なる漢字を「同訓異字」といいます。

例 取る…手に入れる↓「免許を取る」

採る…とりあげて用いる↓「新入社員を採る」

暑い…気温が高い↓「真夏になると暑い」

熱い…温度が高い↓「熱いコーヒー」

厚い…ものの両面のへだたりが大きい↓「厚い本」

●同音異字

音読みが同じで意味が異なる漢字を「同音異字」といいます。

例 検査…「検」 || 調べる↓「身体検査」

実験…「験」 || 試す↓「物理の実験」

危険…「險」 || 危ない・険しい↓「危険な運転」

健康…「健」 || すこやか↓「健康な体」

建設…「建」 || たてる・おこす・始める↓「ビルの建設」

●同音異義語

音読みが同じで意味が異なる熟語を「同音異義語」といいます。

例 関心…気にかける・興味を持つ↓「演劇に関心を持つ」

感心…立派だと感じる↓「友達の勇気に感心する」

寒心…ぞっとする・心配する↓「少年犯罪の増加は寒心にたえない」

例 成算…成功する見こみ↓「この計画には成算がある」

清算…後始末をつける↓「過去を清算する」

精算…お金を計算して結果を出す↓「旅費の精算」

□問一

次の——線のカタカナにあたる漢字を後から選び、記号で答えなさい。

(1) キツネが姿をアラワす。

ア 表 イ 現

(2) 主役をツトめる。

ア 勤 イ 努 ウ 務

(3) 成功をオサめる。

ア 修 イ 治 ウ 収

(4) 鏡に姿がウツる。

ア 映 イ 写 ウ 移

(5) 席をアける。

ア 明 イ 空 ウ 開

(6) 職にツク。

ア 付 イ 就 ウ 着

(7) 水深をハかる。

ア 計 イ 量 ウ 測

(8) ボタンをトめる。

ア 留 イ 止

(9) 消息をタつ。

ア 絶 イ 建 ウ 立

(10) 火のモトに気をつける。

ア 元 イ 本

(11) 旧来のカタを破る。

ア 方 イ 型 ウ 片

(12) 冗談をマに受ける。

ア 間 イ 真

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□問二 次の——線のカタカナと同じ漢字を用いるものを後から選

- (1) イ 食住にも困る生活。 イ 看護師の白イ。
ウ 歯科イ。 エ イ 動図書館。
 (2) ア オウ断歩道。 イ オウ復はがき。
ウ オウ金時代。 エ 因果オウ報。
 (3) カ 学薬品をあつかう。 イ 注文を追力する。
ア カ 説を立てる。 エ 力燃性のガス。
ウ 進力論。 エ 力燃性のガス。
 (4) 大 統リヨウ選挙で再選される。
ア 有リヨウ道路。 イ 一挙リヨウ得。
ウ 北方リヨウ土。 エ 大リヨウ生産。
 (5) 手 先が器ヨウだ。 イ 重ヨウ書類。
ア 専門ヨウ語。 エ 生活ヨウ式。
ウ 美ヨウ師。 エ 生活ヨウ式。
 (6) この葉にはフク作用がある。
ア フク製画。 イ フク社施設。
ウ 本業とフク業。 エ 刑務所でフク役する。
 (7) ヒヨウ準記録。 イ ヒヨウ論家。
ア 投ヒヨウ用紙。 エ 意思ヒヨウ示。
ウ 道路ヒヨウ識。 エ 意思ヒヨウ示。
 (8) 緯度とケイ度を調べる。 イ ケイ率な行動。
ア 手術後のケイ過。 エ 情ケイ描写。
ウ 円の直ケイ。 エ 情ケイ描写。

□問三 次の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) ① 関係者イガイ。 ② イガイな結末。
 (2) ① エイセイ放送。 ② 公衆エイセイ。
 (3) ① 世論のシジを得る。 ② シジどおりに動く。
 (4) ① 成長のカテイ。 ② カテイとして考える。
 (5) ① 液化化ゲンショウ。 ② 人口のゲンショウ。
 (6) ① 人質のカイホウ。 ② 門戸のカイホウ。
 (7) ① ヤセイの草花。 ② ヤセイ的な人。
 (8) ① 会のコウセイメンバー。 ② コウセイな裁判。
 (9) ① 利益のツイキユウ。 ② 真理のツイキユウ。